

# 田崎廣助の故郷——新春の筑後へ

巨匠・田崎廣助を育んだ筑後地域。美しい風土のこの地において、展覧会会期中には春をこぼく数々の祭事が催されています。九州芸文館で展覧会をご覧になったあとは、ほころぶ花の香りに誘われながら、少し足を伸ばして筑後散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

※掲載の情報は変更される場合があります。詳細は各お問合せ先にご確認ください。

## 近隣のイベント情報

**2 大川市**  
「風浪宮大祭」  
風浪宮大祭は、通称「おふろうさんまつり」と呼ばれ、毎年2月9日から11日の三日間、盛大に行われます。お潮井まいり、御神幸祭、流鏝馬などをはじめ、境内には露天も立ち並びます。  
日時:2月9日(日)~2月11日(祝・火)  
場所:風浪宮(大川市酒見726-1)  
お問合せ:風浪宮 0944-87-2154

**3 筑後市**  
「二十日諏訪えびす大祭」  
諏訪神社の境内には、福の神を祭るえびす宮の総本社・西宮えびす神社の末社にあたる「諏訪えびす神社」があります。当日は、商売繁盛を願って様々な催しが行われます。  
日時:1月20日(月)  
場所:諏訪神社境内(筑後市山の井193)  
お問合せ:筑後市観光協会 0942-53-4229

**4 みやま市**  
「幸若舞(国指定重要無形民俗文化財)」  
幸若舞は五穀豊穡を願い奉納される日本最古の舞楽であり、歌舞伎や能といった日本芸能の原点といわれています。室町時代に誕生し、全国に広まりましたが、現在見ることは全国でもここだけです。幸若舞は織田信長も愛したといわれています。  
日時:1月20日(月)  
場所:大江天満神社(みやま市瀬高町大江1492)  
お問合せ:みやま市観光協会 0944-63-3955



**1 柳川市**  
「柳川雛祭り さげもんめぐり」  
柳川独特の雛祭り「さげもん」は、祈りと願いの象徴。江戸の末期頃より、女の子が生まれると初節句のお祝いにお雛様の代わりに古着の切れ端で小物を作り飾ってお祝いしたのがはじまりだといわれます。川下りの船に乗った幼子の晴れ姿や水上ランタンなど、水郷柳川ならではの美しいお祭りです。  
日時:2月11日(祝・火)~4月3日(木)  
展覧会と同時期のイベント:  
1月25日(土)・26日(日) さげもん展示即売会  
2月11日(祝・火) おひな様始祭  
場所:柳川市内各所  
お問合せ:柳川市観光案内所 0944-74-0891

**5 八女市**  
「雛の里・八女ぼんぼりまつり」  
八女地方では、「箱びな」と呼ばれる素朴で独特な雛人形が江戸期から昭和30年代まで作られていました。期間中は、福島の白壁の町並みや商店街など約100か所に「箱びな」を中心に非常に多くの雛人形が展示されています。また、おひなさまパレードや十二単衣と東帯姿の結婚式などさまざまなイベントが開催され、まちは雛の里一色に染まります。  
日時:2月16日(日)~3月16日(日)  
場所:八女市福島地区一帯  
お問合せ:八女市観光案内所 0943-22-6644

**6 八女市**  
「夢たちばな観梅会」  
約3万本の梅が咲き誇る谷川梅林の観梅会では、梅林散策やパンプー商品販売、ワイン試飲販売やステージイベントほか盛りだくさんの催しが行われます。期間中は約3000本の竹とうろうを灯すワインセラー内イベント「竹あかり幻想の世界」や「立花町農業まつり」、「田崎廣助画伯の作品展」などが同時開催されます。  
日時:2月22日(土)~3月2日(日)  
場所:谷川梅林一帯(八女市立花町谷川)  
お問合せ:立花町観光協会 0943-37-1055



【JR】九州新幹線「筑後船小屋」(博多から約25分)下車、徒歩1分  
鹿児島本線「筑後船小屋」(博多から快速で約50分)下車、徒歩1分  
【西鉄バス】50番(久留米-高良台-羽犬塚-船小屋)・5番(柳川-本郷-船小屋)系統「筑後船小屋駅前」バス停下車、徒歩1分  
【車】九州自動車道「八女IC」から10分、「みやま柳川IC」から15分  
【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)

九州芸文館  
KYUSHU GEIBUN-KAN

〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131  
電話:0942-52-6435  
URL: <http://www.kyushu-geibun.jp>  
【展覧会に関するお問合せ】  
電話:092-643-3724  
九州芸文館美術展実行委員会事務局  
(福岡県建築都市部公園街路課内)



# 田崎廣助

特別展  
没後30年

2014年  
1月11日(土)~2月23日(日)

【開場時間】10:00~17:00(入場は16:30まで)  
※1月11日(土)は開会式典終了次第オープン  
【休館日】毎週月曜日、1月14日(火) ※1月13日(月)は祝日のため開館

《箱根朱富士》(部分) 1975年 油彩・画布 田崎美術館

## 展

九州芸文館  
KYUSHU GEIBUN-KAN

巨匠、八女より語る

特別展…………… 没後30年

# 田崎廣助

## TASAKI HIROSUKE

洋画家・田崎廣助（1898-1984）は、福岡県南部の筑後地方にある八女郡北山村（現八女市立花町）に生まれました。元来、絵を得意としていた田崎は、地元・筑後の先輩画家であった青木繁や坂本繁二郎の活躍に触発され、ついに画家への志を固めます。大正9（1920）年に単身上京して二科会を舞台に研鑽を積み、昭和7（1932）年にパリへの留学を果たした後は、「東洋の心」を自覚し、油絵によって日本の精神性を描き出そうとしました。ひたむきな制作のなかで、数々の受賞とともに画壇での不動の地位を築き、昭和50（1975）年には文化勲章受章の栄に浴しています。

田崎の作品の多くは力強い造形と明快な色彩によって表現されています。「健康で善良の美」を志向した田崎は、対象の表面的な美ではなく、深い精神性へと常にまなざしを注いでいました。——高く、清く、美しい、神の如き名山をしっかりと描きたいものである。人間の全てのエネルギーを集めないと山は描けないと思う——こう語る田崎は、とりわけ生涯にわたって画題とした阿蘇山をはじめとする清峻の山々に取り組むとき、自然への畏怖と崇敬を抱きながら筆を重ねていきます。

本展は、田崎廣助が亡くなって30年の節目に際して開催する大規模な回顧展です。田崎の自然観を育んだ郷里の風土の中で、80点を超える優品とともに、田崎芸術の精華をご堪能いただきたいと思います。



《鮎の静物》 1954年 油彩・画布 福岡市美術館



《パリ風景》 1963年 墨・色紙 田崎美術館



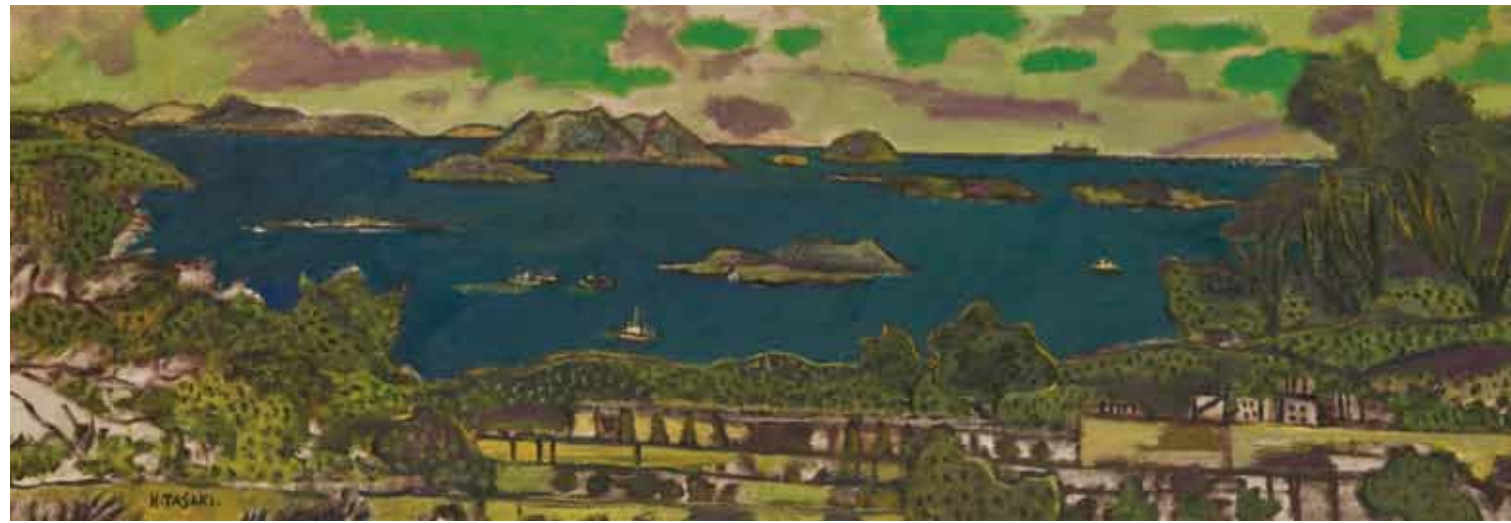
《松と朝顔》 1941年 油彩・画布 田崎美術館



《桜島》 1968年 油彩・画布 福岡市美術館



《阿蘇山》（絶筆） 1983年 油彩・画布 田崎美術館



《海（博多湾）》 1980年 油彩・画布 福岡県庁



《山（宝満山）》 1980年 油彩・画布 福岡県庁

### ■同時開催

## 田崎廣助展覧会

### —東洋の心— ふるさと展

2014年1月19日(日)～1月26日(日) 会期中無休  
9:00～17:00 ※19日は9:00より開会式典開催  
会場:八女市民会館「おりなす八女」 はちひめホール

田崎のふるさと八女市で展覧会を開催します。初期から晩年までの作品26点を展示。田崎美術館の名品と、今回修復を終えて美しく蘇った八女市所蔵の作品は必見です。

主催:八女市、八女市教育委員会  
観覧料:無料  
お問合せ:八女市教育委員会 文化課 電話 0943-23-1982

【シャトルバス運行案内】  
おりなす八女での会期中、週末に限り九州芸文館との間をシャトルバスが運行します。

1月19日(日)	
おりなす八女 発	九州芸文館 発
11:00	12:00
13:00	14:00
15:00	16:00

1月25日(土)・26日(日)	
おりなす八女 発	九州芸文館 発
10:00	11:00
12:00	13:00
14:00	15:00
16:00	16:30

【オープニング記念トークイベント】  
「田崎美術館館長とめぐる  
ギャラリートัวร์」

田崎美術館の館長・坂本氏による楽しい解説とともに展覧会を鑑賞します。ここでしか聞けない作家や作品のエピソード満載です。

日時:1月11日(土)13:30～14:30  
場所:展覧会場内  
参加無料、申込不要、先着順  
講師:坂本佳久(田崎美術館館長)

【出張講演会】  
「崇高なる山を描いた画人  
—田崎廣助の生涯と芸術」

日時:1月18日(土)13:30～15:00  
場所:アクロス福岡(福岡中央区天神1丁目) セミナー室2  
定員:70名  
参加無料、申込不要、先着順  
講師:高山百合(福岡県立美術館学芸員)

【スライド・レクチャー】  
担当学芸員に聞く  
「もっと知りたい田崎廣助」

第1回 「明治・大正編」  
日時:1月25日(土)13:15～14:00  
第2回 「昭和前期編」  
日時:2月8日(土)13:15～14:00  
第3回 「昭和後期編」  
日時:2月22日(土)13:15～14:00

場所:教室工房3・4  
定員:各回30名  
参加無料、申込不要、先着順

【ワークショップ】  
「拝啓、田崎廣助さま」

展覧会鑑賞の後、田崎廣助の作品から主題をえらんで、講師に習いながら絵てがみを制作します。

日時:2月2日(日) 午前の部 10:00～12:30  
午後の部 14:00～16:30

場所:教室工房6  
定員:各回20名(先着順、要申込)  
参加費:一人1,500円(材料費を含む)  
持参するもの:水彩絵具、筆洗、パレット  
講師:平安智子(画家)  
申込方法:電話(九州芸文館 0942-52-6435)にてお申し込みください。

【ギャラリートーク】  
来場のみなさまと一緒に展覧会場をまわりながら、学芸員が作品鑑賞のポイントをお話しいたします。  
日時:2月1日(土)、2月15日(土)14:00～14:30  
場所:展覧会場内  
参加費無料、申込不要

【カフェレストラン「ななつ星」特別メニュー】  
会期中、館内カフェレストランにて田崎廣助の作品をイメージした特別メニューが登場します。  
営業時間:10:00～20:00  
(19:30 オーダーストップ)  
お問合せ:カフェレストラン「ななつ星」  
電話 0942-53-9966

関連イベント ※展覧会場内でのイベントは本展観覧券が必要です。 ※企画の詳細・最新情報は当館ホームページにて順次掲載します。

巨匠、八女よりいづる

2014年  
1月11日(土)～  
2月23日(日)

【開場時間】10:00～17:00(入場は16:30まで)  
※1月11日(土)は開会式典終了次第オープン  
【休館日】毎週月曜日、1月14日(火)  
※1月13日(月)は祝日のため開館

観覧料  
一般 500円(300円) 高大生 300円(100円)

※( )内は20名以上の団体料金  
※65歳以上の方は特別割引料金(300円)  
※中学生以下は無料 ※土曜日は高校生無料  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者は無料

主催/九州芸文館美術展実行委員会  
共催/八女市、八女市教育委員会、西日本新聞社  
後援/大牟田市、久留米市、柳川市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、朝倉市、みやま市、筑前町、東峰村、大刀洗町、大木町、広川町、大牟田市教育委員会、久留米市教育委員会、柳川市教育委員会、筑後市教育委員会、大川市教育委員会、小郡市教育委員会、うきは市教育委員会、朝倉市教育委員会、みやま市教育委員会、筑前町教育委員会、東峰村教育委員会、大刀洗町教育委員会、大木町教育委員会、広川町教育委員会  
特別協力/田崎美術館(軽井沢)